

教育委員会会議次第

令和2年6月16日（火）16:30
小倉北区役所 5階 503会議室

1 開 会

2 案 件

(1) 協議

協議①「人事について」

(服務争訟担当課長)

(2) その他報告

その他報告①「新型コロナウイルス感染症の本市の対応状況（教育委員会関係）について」

(指導企画課長・中央図書館庶務課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- 1 開催年月日 令和2年6月16日(火)
- 2 開催時間 16:30～17:00
- 3 開催場所 小倉北区役所庁舎西棟5階
- 4 出席者 (教育長) 田島 裕美
(教育委員) シャルマ 直美 平野 氏貞 大坪 靖直
津田 恵次郎 竹本 真実
- 5 事務局職員
- | | |
|--------------|--------|
| 教育次長 | 太田 清治 |
| 総務部長 | 松成 幹夫 |
| 教職員部長 | 福嶋 一也 |
| 学校支援部長 | 柏井 宏之 |
| 指導部長 | 古小路 忠生 |
| 学力・体力向上推進室長 | 金子 二康 |
| 総務課長 | 田中 真徳 |
| 企画調整課長 | 正平 徹二 |
| 教職員課長 | 宮基 章弘 |
| 服務争訟担当課長 | 上野 正彦 |
| 学事課長 | 仲道 裕一 |
| 学校保健課長 | 角野 純二 |
| 指導企画課長 | 根橋 広樹 |
| 指導第一課長 | 澤村 宏志 |
| 次世代教育担当課長 | 高橋 秀明 |
| 教育振興担当課長 | 竹永 政則 |
| 指導第二課長 | 中溝 直樹 |
| 特別支援教育課長 | 小西 友康 |
| 学力・体力向上推進室次長 | 藤井 創一 |
- 6 書 記 総務課庶務係長 増田 真二
総 務 課 早川 由香里
- 7 会議の次第 別紙のとおり

教育委員会(臨時会)会議録 (令和2年6月16日)

1 開 会

16:30 田島教育長が開会を宣言

2 会議録署名委員の指名

田島教育長が会議録署名委員に、津田委員と竹本委員を指名。

3 案 件

(1) 公開案件

その他報告①「新型コロナウイルス感染症の本市の対応状況(教育委員会関係)について」

指導企画課長・中央図書館庶務課長が報告。

[報告要旨]以下の項目について報告。

現時点における、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた教育委員会の対応について、報告するもの。

シャルマ委員/4ページの国のクラスター班の方が来られた時の報告で、真ん中辺りに大きい矢印の下、3行目「排除可能なリスクは排除した上で、教育や日常の交流機会を失うことのないようにする」という点がこれから学校の中でみんなが大事にしていくことではないかと思う。

排除可能なリスクというものが一体どういうものなのか、その排除可能なリスクが具体的に明らかになって、それをみんなで意識し考えていく。それから保護者もそこに協力することで排除可能なリスクの具体的な内容が今後明らかになっていき、安心・安全な学校生活に近づいていくのかなと思う。

今後は少し時間が経った後に給食や部活を再開していくこととなるが、その中でもまた起こり得ることを考えていかないといけない。ぜひ配膳の方法、食事時間のルール、部活動のあり方など、様々排除可能なリスクについて具体的にご検討するようお願いしたい。

また、今学校の中では、子どもたちが帰った後、学校業務補助員が教室の机やトイレ・階段、など学校全体を1人で消毒するのは本当に難しいことだと思う。

先生方がとても頑張って消毒をしておられるわけだが、今後学校で子どもたちが学ぶ時間が多くなった時に先生方の消毒の負担について少し心配なところがある。

排除可能なリスクを考える時に、ぜひ先生方の負担ということも考えて実現可能な方法での排除可能なリスクの排除を行っていただきたい。

大坪委員/6月から臨時休校に入った学校の状況について、非常に詳しくご説明いただいたところだが、臨時休校に入らない、その他の小学校・中学校の生徒の学校での様子について分かる範囲で教えていただきたい。

全ての学校で、おそらく子どもたちは基本的に校内ではマスクを着用し、手洗いはできるだけ頻繁にやるように先生たちにご指導されているというふうに報告を受けているが、そういうふうな状態での学校生活の中で指導を受けて、おそら

く子どもたちもずいぶんこの病気にかかるのではないかと心配をしたり、あるいはそういうふうな様々な制約から少しイライラしたりしているのではないかと気になった。分かる範囲で構わないので、子どもたちの様子についてどのように教育委員会へ報告が上がってきているのか教えていただきたい。

指導第一課長／今の質問について結論から言うと、子どもたちも慣れてきているという声を多く聞いている。

それは学校としても、例えば検温をする体制、あるいは消毒をする体制などそういうことについて学校も慣れてきており、また保護者の皆さまも朝きちんと検温をしてチェックリストにサインをして持ってくると、そういう全体の体制ができていくところである。

いわゆる半ドンであるため、先生方からのアンケートでは時間的余裕があるため個別に対応ができるといった意見を聞いている。

そういったある程度落ち着いた状況であるため、学習、生活が問題なく行われているということは言えるのではないかと考えている。

また、休んだ児童・生徒への学習のフォローとして、例えばノートのコピーや学習委員がまとめたものを家庭に届ける、そういった体制なんかもできてきているというふうに聞いている。

指導第二課長／分散登校が始まり、子どもたちが登校してきている様子に笑顔が見られて、とても先生と友達との再会をうれしそうにしている姿が見られるといったような話を校長先生方から、かなり多く聞いている。

ただ、市内で児童・生徒の感染が確認されて以降は、若干子どもたちも不安に思う様子も見られたとも聞いている。

先日、中学生のオンライン意見交換会等も行われ、その中での子どもたちの意見としては、中学生は勉強が始まって進路への不安が少し減った、友達と先生と会話できてよかった、といった声があった半面、分散登校なので、会いたい友達と会えなくて、淋しいというような声も聞かれた。

津田委員／学校再開にあたって、いろいろな取り組みをしていかれていることに感謝申し上げます。

今日の報告の中にもあったが、今後は専門家のシャルマ委員をはじめいろいろな専門家が入って意見などを聞き、今まで以上のステップを踏んでいくことを報告していただいた。前回の会議でも申し上げたが、今後適切な時期に今ある保健マニュアルの改定、迅速かつ適切な時期に改訂していただきたい。また、改定する前に伝えないといけない、やらなければいけないこともきっとあると思う。今どうしても短期的なことの対応に追われているが、コロナの問題に限って言えばやはり中長期的な視野に立っての検証作業を行ったり、いろんな物事の問題点・課題等を集めて整理して、それを専門家の方々に適切に意見をいただくなどして、こういった教育現場に政策として持ち帰ってくるという手順が必要だと思うので、その辺りのことをよろしく願いたい。

あともう1点、今回のコロナの問題点では例えばいろいろなことを皆さん感じていると思うが、教育だけではなく心理・社会・経済的な問題が複雑に絡んだ問題であるため、1つの切り口だけだとなかなか上手くいかない問題だと思う。だからこそのいろいろな問題を1つ1つ引っ張り上げて、それに対する対策を各専門家や医者だけではなくいろいろな領域の方にご意見を伺って、対応を考えなければいけないと思うので、ぜひよろしく願いたい。

報 告 終 了

(関係者以外退出)

(2) 非公開案件

協議①「人事について」

本議案の提案理由を服務争訟担当課長が説明。

[提案理由要旨]

- ・ 事案概要
- ・ 処理方針 等

原 案 可 決

4 閉 会

17:00 田島教育長が閉会を宣言